

# ミクリ

*Sparganium erectum*

ミクリ科



ミクリ

## 名前の由来

小さな果実が集まった球形の果実を栗のイガに見立てて名付けられた。

漢字名：実栗

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(葦原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ

## 特定種

国レッドリスト (2007) : 準絶滅危惧 (NT)

北海道レッドデータ : 希少種 (R)

## 形態的特徴

根は池底、上部は水面より上に立ち上がる抽水植物。水中から直立した茎を中心に葉を左右に交互に出して成長し、高さ0.6~1.5mほどになる。ミクリ属の種は日本に10種、そのうち北海道には6種見られるが、その中で最も大型。葉は長さ50~150cm程度、幅0.8~2.0cm程度。ミクリ属に共通な特徴として、葉の断面が三角形になる。葉はスポンジのような構造をしており、つまむとふわふわした感じがする。花序は数本に枝分かかれし、小さな花がたくさん集ま

った球状の頭花を複数つける。頭花はよく観察すると2種類あり、枝別れたそれぞれの茎の最上部付近につくやや小さいものが雄花、それより下方につくやや大きいものが雌花である。雄花には雄しべを3個つけた小さな花があつまり、雌花には雌しべを1個つけた小さな花が集まっている。雌花が先に咲き、雌花が終わる頃雄花が咲く。果実が熟す頃、頭花の直径は2~3cmになる。

## 類似種と見分け方

他のミクリ属の植物。および、花がついていない時期はガマ、マコモ。

ミクリ属の植物は花序の枝分かれ程度や、頭花のつき方で見分けることができる。全体が大きく1m以上あり、花序の枝が3本以上であればミクリ。花がついていない時期はミクリ同様大型の抽水植物であるガマ、マコモと似ている。

ミクリの葉の断面は三角形だが(葉の下方で顕著)、ガマとマコモは平たい。ガマの葉は厚みがあり、ミクリと同様内部がスポンジのような構造で、つまむとふわふわする。マコモの葉は厚みがなく、中心にはっきりとした1本の筋がある。



ミクリ。花序は枝分かれが多い



類似種のタマミクリ。花序は枝分かれせず、雄花と雌花が隣接している。写真は果実で雄花は既ない



類似種のエゾミクリ。花序はほとんど枝分かれせず、雄花と雌花が離れている

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■■■■■								
結実期						■■■■■						

## 生育環境・分布

湖沼や池、流れの緩い河川、水路などに群生する。

**分布：**国外分布は、オーストラリア、北半球。

国内分布は、北海道から九州。

道内分布は、全道。

十勝地方では、十勝川の中流から下流の湖沼や池、支流、小水路などに生育している。水深30～60cm程度の水域に生育していることが多い。



ミクリ。水辺の小群落

## 生活史

**開花時期：**7～8月

**開花までの年数：**不明だが、十勝川下流域に人為的につくられた池では出現（発芽）して1年目に花がみられた。た

だし、出現した個体が種子由来か根茎由来かは不明。

**寿命：**多年草

## 他生物との関わり

果実はマガモなどの水鳥に食べられる。

ルリボシヤンマ属のトンボやオツネトンボは、ミクリなどの抽水植物の植物体組織内に卵を産みこむとともに、羽

化する場所としても利用する。ただし、ミクリだけが利用されるのではなく、抽水植物一般が利用される。



ミクリに産卵するオオルリボシヤンマ



抽水植物の葉で羽化したオオルリボシヤンマの羽化殻

## 興味深い話

■ミクリの仲間は地中に走出枝を伸ばして新しい株を作る。条件がよければ生育は早く、十勝川下流域の人工ビオトープに移植した事例では、株数は3年間で約120倍に増加した。

■ミクリが生育するような環境は、トンボ類や両生類、魚

類にとっても重要な生息場所であり、ミクリが生育する沼地には多くの生物が生息している事が多い。

■ミクリは雌雄同株で、雌花が先に咲き、雌花が終わる頃雄花が咲き、その後雌花が結実する。



ミクリの雌花。



ミクリの雄花。雌花の次に咲く



最後に結実。栗のイガのように見える

## 配慮事項

ミクリが安定して生育するためには水深30～60cm程度、泥底の環境が必要である。

ミクリは日本や北海道で絶滅の恐れのある種に指定されている。ミクリが生育できるような水域は年々減少している。

移植は簡単で、水深30～60cm程度の泥底に根ごと植えればよい。

### 参考文献

「日本の野生植物 草本Ⅰ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「日本水草図鑑」角野康郎 文一総合出版1994

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑」杉村光俊・石田昇三・小島

圭三・石田勝義・青木典司 北海道大学図書刊行会 1999

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チヨウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ